

# 市立幼稚園でも小規模保育 待機児童「通年のゼロ」へ 来年10月から

市は、市立幼稚園での小規模保育事業を実施する。市立幼稚園では入園児数の減少で平均入園率が 50%を下回っており、余裕保育室を活用して 1・2 歳児の受け入れ枠を確保する。平成 30 年 10 月実施を目指す。

市は「めざせ!!『通年のゼロ』」をキャッチフレーズとして、いわゆる潜在的な待機児童も含めた通年での待機児童解消に向け、平成 31 年度当初までに 500 人の入所枠の拡大を図るため、さまざまな取り組みを進めている。

- ★平成 29 年 4 月 1 日現在、保育所等に入所できず待機となっている児童数は 299 人（国の定義では 9 人）となっている。一方、市立幼稚園では年々、入園児数が減少し、平均入園率は 50%を下回っている。市立幼稚園の余裕保育室を活用し、小規模保育事業を実施することで待機児童が多い 1・2 歳児の受け入れ枠を確保する。
- ★実施する幼稚園は、平成 30 年度の入園児募集状況を踏まえ、入園児数が定員の 50%を下回り、かつ余裕保育室が 2 室以上ある園を予定している。定員は原則として 1 歳児 9 人、2 歳児 10 人の計 19 人。平成 30 年 10 月からの実施を目指す。
- ★市はこれまでも市立幼稚園の施設を活用した待機児童対策を進めており、平成 23 年度に余裕保育室を活用した市立保育所の分園設置や、27 年度には廃園した施設を活用した民間保育所の分園設置などを行ってきた。
- ★3 歳未満が対象の小規模保育事業は、平成 27 年度に「子ども・子育て支援新制度」が施行されたことに伴い地域型保育として新設された。（定員 6 人～19 人）。本市では、待機児童の 8 割程度が 1・2 歳児であることや一定のスペースがあれば実施できることなどから、新制度施行以降増加し、事業認可した認可外保育施設では、平成 27 年度と 29 年度に各 3 か所の計 6 ケ所で実施している。また、公共施設の活用も進めており、4 月には旧枚方区検察庁舎跡に「おおがいと小規模保育施設」、7 月には北部支所内に「くずは並木小規模保育施設」を市直営で開設している。さらに、民間保育園による小規模保育事業の実施も予定している。

<お問い合わせ>

子ども青少年部 子育て事業課 ☎072-841-1471、FAX072-841-4319